

みなさんは、次の計算ができますか？

$$-3 - (-15) \div 5$$

答えは0。多くの人にとっては簡単な計算でしょう。では、次の問題ははどうでしょう？

次の計算を3分でせよ。

$$(1) \frac{1}{6} + \frac{3}{4}$$

$$(2) -9 - 5 \times 3$$

$$(3) 5(a-1) - 2(3a-4)$$

$$(4) 2a^2 \times (-3b)^2 \times (-ab^2)$$

$$(5) \sqrt{6} \times \sqrt{3} + \sqrt{2}$$

答えは順に $\frac{11}{12}$, -24 , $-a+3$, $-18a^3b^4$, $4\sqrt{2}$ となります。

いかがでした？ 全問正解でしたか？

- ① 時間内に全問正解。
- ② 解けた問題は正解だったけど、時間がなくて全部解けなかった。
- ③ 急いで全部を解いたからケアレスミスをしてしまった。
- ④ 制限時間には解けなかったけれど、3分以上かければ全問解けた。
- ⑤ 解き方がわからなくて解けなかった。

実際の入試では、①以外の方はみんな同じことなのです。時間内に全問正解ではないので、すから、②の人はもっと早く解けるようにする必要があります。③の人は集中する訓練をする必要がありそうですね。みなさんも知っている通り、入試では短時間に多くの問題を解かなくてはなりません。「問題が解ける」だけではだめなのです。

そこで、各都道府県の公立高校の入試問題から「10分間で解かなくてはならない量」を100回分選んで問題集を作りました。1回分は計算問題とそれ以外のいわゆる「大問」で構成されています。この問題集で、時間配分や集中力をつける訓練をしてください。

地域有数の難関校を受験する人は、全問解けることが目標ですね。数学は苦手だからなんとか合格点が取ればいいと思う人は、計算問題を確実に解いて、あとは大問の部分点をプラスアルファで取ればいいかもしれません。自分の目標に応じて課題と目標点を設定してチャレンジしてみてください。

10分で問題を解いて5分で答え合わせをする、1回15分の努力を積み重ねることで、数学の入試を突破する力がつくことでしょう。

- ① 1回10分の制限時間で解く。解けなくても10分でやめる。
- ② 答え合わせをする。わからなかった問題については、**解き方**を見てわかるようにすること。

この方法だと、1日15分で終わりですね。でも、

- ① 全部解けなかった場合は、あらためて解けなかった問題だけを解くと効果的です。弱点の補強になります。
- ② 解き方を見てもわからない問題は、教科書や参考書を見てよく復習しましょう。そのとき、問題の上にある出題内容が役に立つでしょう。

こんなことをしていたら15分では終わらない…と思うかもしれませんが、たまにはちょっとがんばってみてください。その余分の勉強がよりみなさんの力になるのです。

☆ 40回分にはヒントをつけてあります。わからない人は見てもいいでしょう。

☆ 100回なんて多すぎると思う人がいるかもしれませんが、でも、「受験が近づいてきた！ どうしよう」とあせり出す秋ごろから始めて、土曜日と日曜日は休んでも、受験までには十分終わられます。気まぐれに、2時間、3時間と固めて勉強するよりも、少しずつでもいいので毎日(土日は休んでも構いません)取り組むことで学力が定着します。

☆ 後ろ見返しに「得点の記録」を記入する表があります。得点の右側にはグラフをかく欄もあります。棒グラフや折れ線グラフなど自由に使えます。上手に利用して学習の励みとしましょう。

中学校の学習内容	4~7
第1回 ~ 第10回 ウォームアップ編	8~17
第11回 ~ 第40回 実力確認編	18~47
第41回 ~ 第100回 実力完成編	48~107
模擬テスト	108~111
得点の記録	後ろ見返し